

2014年(平成26年)10月15日(水曜日)

## 一等水準点を発見

増毛山の会 復元後は2例目に

【留萌】NPO法人増毛山道の会(伊達東会長)は4日、復元した同山道で所在が不明だった一等水準点を高精度のGPS

を使って発見した。復元後の山道で見つけたのは、2012年10月に続いて2例目。同山道の一等水準点



は、17基設置された記録がある。山道が廃れ、浜益御殿頂上付近の一等水準点8462が見つかるとまでは地図上のみの存在だった。その後、山道復

元調査などを通じて発見。ことし復元した岩尾分岐点―雄冬山直下間約5キロで2基を見つけた。この日は、

今回見つけた一等水準点8469  
標高の誤差が2―3センチ分かった。  
これを受け、武好駅通跡から別狩口方向に下った1・5キロ付近で、不明だった一等水準点8469の場所を特定しようとしたときに、枯れ葉に覆われていた標柱の頭を見つけた。これにより同会が発見した一等水準点は7基となった。  
事務局長の小杉忠利小杉測量設計社長は「明治時代の記載の正確さに驚いている。土に埋もれている不明の一等水準点の特定にもめどが立った」と話している。

法人会員の小杉測量設計(本社・留萌)がGPSを使い、発見済みの一等水準点の位置を再確認したところ、GPSでの測定結果と記載されている